

公益社団法人 地盤工学会

平成 23 年度 第 2 回

会 員 ・ 支 部 部 会

議 事 録

日 時：平成 23 年 7 月 13 日（水）14：00～17：00		会 場：地盤工学会 3 階会議室	
理 事 会 員 ・ 支 部 部 長 岸 田 隆 夫			
理 事 須 賀 幸 一 (会 員 ・ 支 部 担 当)		部 員 規 矩 大 義 ( 継 続 教 育 シ ス テ ム 委 員 会 委 員 長 )	部 員 山 崎 剛 ( 産 官 学 連 携 支 援 委 員 会 委 員 長 )
部 員 桑 野 玲 子 ( 男 女 共 同 参 画 ・ ダ イ バ ー シ テ ィ ( 委 ) 委 員 長 )		部 員 中 村 晋 ( 本 部 支 部 活 動 活 性 化 ( 委 ) 委 員 長 )	
部 員 渦 岡 良 介 ( 会 員 デ ー タ バ ー ス 管 理 シ ス テ ム 改 善 W G リ ー ダ ー )	×	部 員 遠 藤 一 郎 ( 支 部 活 動 情 報 の 収 集 配 信 W G リ ー ダ ー )	部 員 原 田 克 之 ( 会 員 デ ー タ バ ー ス 管 理 シ ス テ ム 改 善 W G リ ー ダ ー )
部 員 今 村 雅 弘	×	オ ー ガ ー 末 岡 徹 ( 建 設 系 CPD 協 議 会 会 長 )	
事 務 局：長尾，松本			

：出席 ×：欠席 ：未定

本日の議事録作成担当者（ 中村 部員 ）

( 2 原田(H22 . 11) 3 渦岡 (H23 . 1) 6 桑野 (H23 . 3) 5 遠藤 (H23 . 5) 7 中村(H23 . 7)  
1 山崎 4 規矩 8 今村 9 須賀 10 岸田)

議 題：

【議事録確認】

1 . 前 回 議 事 録 の 確 認 ( H 2 3 / 3 / 9 ) ( 担 当 ： 遠 藤 部 員 )

〔別紙-1〕 pp . 1-3

岸田部長より説明がなされ、議事録は承認された。

- ・ 国際会員の減少の理由についての質問に対して、企業などの会員の減少によるのではないかとの回答があった
- ・ 部会開催曜日として、水曜日に都合のつかない部員もいるため、次回は 9 月 14 日(水)より 9 月 16 日(金)に変更を行い、次回に以降の開催曜日について調整を行う。

【審議事項】

1 . 平 成 2 3 年 度 本 部 支 部 連 絡 協 議 会 ( H 2 3 / 7 / 5 ) 議 事 録 の 確 認

〔別紙-2〕 pp . 4-5

( 平 成 2 3 年 7 月 5 日 ( 火 ) 1 8 : 4 5 ~ 2 0 : 0 0 神 戸 国 際 会 議 場 )

[7/29 理事会・報告事項](#)

桑野部員より説明がなされ、議事録は承認された。

- ・ 本部支部活動活性化委員会へ九州支部より委員を推薦いただいていないので、協議会の場で発言いただいた廣岡幹事を通じて、再度願います。

2 . 所 管 委 員 会 関 連 ( 審 議 ・ 報 告 )

1 ) 継 続 教 育 シ ス テ ム 委 員 会 ( H 2 3 / 7 / 1 開 催 )

〔別紙-3〕 p . 6

平 成 2 3 年 度 委 員 会 構 成 [7/29 理事会・報告事項](#)

岸田部長より説明がなされ、メンバー交代を含む平成 23 年度委員構成が承認された。

2 ) 産 官 学 連 携 支 援 委 員 会

岸田部長より説明がなされ、山崎委員長と協議し今年度中に新たな方向性（解散も含む）を明確にする。

3 ) 男 女 共 同 参 画 ・ ダ イ バ ー シ テ ィ に 関 す る 委 員 会 ( H 2 3 / 7 / 1 2 開 催 )

〔別紙-4〕 pp . 7-13

平 成 2 3 年 度 委 員 会 構 成 [7/29 理事会・報告事項](#)

第 4 6 回 研 究 発 表 会 特 別 セ ッ シ ョ ン ， サ ロ ン ・ 土 ・ カ フ ェ W

桑野委員長より説明がなされ、以下の様な報告、議論がなされた後、議事録について承認された。

- ・委員の追加を考えているが、現時点では追加できない。今後、数名の追加を考えている。
- ・土木学会よりダイバーシティに関する書籍の出版企画に地盤工学会の当該委員会が協力をしている。
- ・特別セッションでの提案にあった女子学生会員を活用した出前講義などの新たな試みについても検討を行う。その活動は、支部での事例などを踏まえて行うなどの工夫が必要と考えられる。
- ・サロン・土・カフェWは大変楽しい企画であり、大会中毎日でも開催してもよいのではないかと。

#### 4) 本部支部活動活性化委員会

平成 23 年度委員会構成 7/29 理事会・報告事項 〔別紙-5〕 p. 14

中村委員長より、平成 23 年度委員構成等についての報告の後、以下の事項が指摘された。

- ・今月中に九州支部よりの委員推薦をお願いする。
- ・次回の委員会開催日程を早急に決める
- ・会員支部部内の WG との連携を行うため、WG より事務局委員として参加していただく。
- ・須賀理事の作成したアンケート結果のとりまとめ資料も次回委員会で活用する。
- ・会員増に結びつく活性化を目指してほしい(部長より)

#### 5) 会員データベース管理システム改善 WG

〔別紙-6〕 pp. 15-28

会員管理ならびに C P D ・行事管理システムの業務委託契約 7/29 理事会・報告事項

原田部員より説明がなされた。

- ・従来のシステムとの差異が分かるような資料 (A4 一枚程度のパンフのようなもの) を作成する。
- ・本部・支部の事務担当者より使用性の向上について、聞き取り調査が必要である。

#### 6) 支部活動情報の収集配信 WG

須賀理事より説明がなされた。

- ・9 月には第一回の WG を開催したい。
- ・第一回 WG の前にメール上でも打ち合わせを実施してほしい。

### 3. 新規入会希望者 (平成 23 年 7 月) 7/29 理事会・審議事項 〔別紙-7〕 pp. 29-34

事務局より説明がされた。

- ・例年 6 月より正会員が若干増加する傾向がみられるが、今年度は 6 月になっても増加が認められない。

### 4. 東北地方太平洋沖地震による会費減免申込者 7/29 理事会・承認 〔別紙 - 8〕 pp. 35-36

事務局より説明がされた。

### 5. ダイバーシティ促進のための会費減免申込者 7/29 理事会・承認 〔別紙 - 9〕 p. 37

事務局より説明がされた。

### 6. ダイバーシティ促進のための会費減免」に関する適用範囲の確認 〔別紙-10〕 pp. 38-40

事務局より説明がされた。

- ・会費減免による減額値を理事会に際して報告する。
- ・会員の家族に身体障害者がいる場合の会費減免の適用について検討を実施した。

### 7. 平成 22 年度末除籍者への慰留方策 7/29 理事会・報告事項 〔別紙-11〕 p. 41

事務局より説明がされた。

- ・社団法人を公益法人に修正する。
- ・支部活動情報の収集配信 WG と本部支部活動活性化委員会とで、退会者にアンケート調査を行い、分析結果を理事会に報告する。

- 1) 学生会員を増加させる方策
- 2) 学生会員を正会員にスムーズに移行させる方策
- 3) 若い20代の技術者を正会員に勧誘する方策
- 4) 若い20代の正会員をやめないようにする方策
- 5) その他

国立工業高等専門学校を対象とした「地盤工学会学生会員・若手会員の勧誘について」岸田部長より説明がなされた。

土木学会の教員名簿を事務局で入手の上、須賀理事に送り、発送先の先生の名前を確定する。

会員数増強について岸田部長より示された上記課題について、欠席した部員による事前送付資料を部長により説明がなされた後、各部員の意見の説明とそれに対する質疑が行われた。

#### <原田>

- ・ 学部学生は研究室単位で無料としてはどうか。 会誌は研究室単位で2部程度 特別会員として研究室単位で入会することにより、会誌を配ることができる。
- ・ 一人一人が会員としての意識を持つため、少額でも会費を払う必要があるのではないか。
- ・ 学生は研究発表会で発表するということで学会に入会している。
- ・ 学生も全国大会で発表できる学生だけではない。
- ・ 東日本大震災などを契機として、地盤工学会東北支部主催の発表会などを実施し、東北支部の学生会員を獲得する努力を行う。
- ・ 学生へ投資する、会費減に対しては会員より寄付をつのる。

#### <中村>

- ・ 学生の会員入会は学会発表を目的として実施している。東北支部では、地盤系の支部主催研究発表会がないため土木学会東北支部の発表のための土木学会の学生会員への入会を促している。東日本大震災を契機とする支部主催の地盤系発表会の開催を行うことができれば、地盤工学会の学生会員への入会を促すことができる。
- ・ 若手技術者にとって地盤工学会への入会のメリットを明確にするため、学会誌の指向の見直しを行うとともに、震災を契機とした地盤安定性評価への社会的要請へ対応できる資格のようなものを作り、入会のインセンティブを明確にする。

#### <末岡>

- ・ 学生会員として、最初の半年は無料としてもよいのではないか
- ・ 女性、学生などが自由に話し合える場所を提供することにより、様々な情報を入手できるようにするのもよい。
- ・ カフェ形式の懇談会を促進するのはよい。

#### <桑野>

- ・ 実務者の学会への参加を促す方策が必要ではないか。参加できる場の企画が必要。
- ・ 土木系の卒業生は地盤工学会が土木学会に次ぐ第二学会的な学会なので、就職ご休会できるようにする。

#### <須賀>

- ・ 会誌が実務上有益であった時代が終わり、会員のメリットとして、会誌以外の要素、例えばコミュニティーなども重要ではないか

#### <松本>

- ・ 地盤工学会の知名度を上げるため、入ってもらうことが必要ではないか。半年目は無料でもよい。

#### <長尾>

- ・ 学生から正会員へ移行する会員は、社会人セミナーを開催するなど交流ができる場を提供する。

### 〔報告事項〕

1. 地震時における地盤災害の課題と対策 - 2011年東日本大震災の教訓と提言 - (「素案」・「要約」)

岸田部長より説明がなされた。

2. 東北地方太平洋沖地震による会費減免申込者 6/24 理事会・承認 〔別紙 - 14〕 pp. 48-49  
東北地方太平洋沖地震により被災された会員への支援として、地盤工学会規則第 13 条 3 項の規定に基づき、平成 23 年度会費を免除することになった件についての申込者リスト。規定により、会員・支部部の審議に基づき理事会で決定する。
3. ダイバーシティー促進のための会費減免申込者 6/24 理事会・承認 〔別紙 - 15〕 pp. 50-51  
「ダイバーシティー（多様性）」を促進するため、地盤工学会規則第 13 条 5 項の規定に基づき、平成 23 年度からスタートした会費の減免の取扱いに対する申込者のリスト。規定により、会員・支部部の審議に基づき理事会で決定する。
4. 理事会 (H.23/5/13, 6/10, 6/24 書面) 開催報告 〔別紙- 16〕 pp. 52-64
5. 7 月 29 日 (金) 開催理事会への議題：審議事項および報告事項  
〔審議事項〕 〔報告事項〕  
(\* 議題書中に 審議事項, 報告事項として記載)
6. 次回部会等開催日  
理事会 : 平成 23 年 9 月 30 日 (金) 14:30~16:30  
書面理事会 : 平成 23 年 10 月 28 日 (金) 14:30~16:30  
会員・支部部会 : 平成 23 年 9 月 16 日 (金) 14:00~17:00

〔その他〕

前回議事録からの申し送り事項

1/19 の次回部会終了後に懇親会を企画。

**平成 23 年度 会員・支部部会 開催日程 (当初,原則として第 2 水曜日の開催とした)**

第 1 回	H.23 年 5 月 11 日 (水) 14:00~	〔 5/13 (金) 理事会, 6/10 (金) 総会, 6/24 (金) 書面〕
第 2 回	7 月 13 日 (水) 14:00~	〔 7/23 (金) 理事会, (本部支部連絡協議会 7/5(火))〕
第 3 回	9 月 16 日 (金) 14:00~	〔 9/30 (金) 理事会, 10/28 (金) 書面〕
第 4 回	11 月 10 日 (水) 14:00~	〔 11/29 (金) 理事会・(本部支部懇談会), 12/22 (木) 書面〕
第 5 回	H.24 年 1 月 11 日 (水) 14:00~	〔 1/27 (金) 理事会, 2/24 (金) 書面〕
第 6 回	3 月 14 日 (水) 14:00	〔 3/16 (金) 理事会, 4/27 (金) 書面〕